

鳥取県の生態系等に被害をおよぼすおそれのある外来種リストの 記載内容について

1. 記載内容

(1) 基本情報（分類群、目名、科名、和名、学名、原産地）

①動物

動物の分類群は、平成27年3月に環境省が公表した「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」以降、「生態系被害防止外来種リスト」に準拠し、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、陸上節足動物、その他無脊椎動物とした。

科名、和名、学名、原産地等の基本情報についても上記に準拠した。また、低次分類として目（もく）を加え、目名および掲載順は「最新 日本の外来生物」（一般財団法人自然環境研究センター編著）以降、「日本の外来生物」に準拠した。

②植物

植物の分類群は「生態系被害防止リスト」に準拠し、コケ類、維管束植物、藻類の順とした。和名、学名、原産地等の基本情報についても上記に準拠した。科名と掲載順については「日本の外生物」に準拠した。

(2) 定着の有無・県内分布

①定着の有無（定着状況）

聞き取り調査、文献調査、学識経験者等から得られた意見を総合的に判断し、定着状況を判定した。定着状況の定義を表-1に示す。

表-1. 定着状況の定義

記号	定着状況	定義（要件）
○	定着済み	人の管理外で継続的に確認され、繁殖していると思われる種
△	定着不明	情報はあるが定着しているか不明な種
—	情報なし	目撃情報や記録がない種

②県内分布

県内の市町村を5地区に区分し、地区ごとに定着状況を整理した。地区の区分を表-2に示す。なお、5つの地区すべてで定着となった場合は分布を「県内全域」とした。

表-2. 各市町村の地区区分

県内全域																		
東部地区		八頭地区			中部地区					西部地区					日野地区			
鳥取市	岩美町	若桜町	智頭町	八頭町	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	米子市	境港市	日吉津村	大山町	南部町	伯耆町	日南町	日野町	江府町

(3) 鳥取県指定カテゴリ

掲載種について、県内における生態系等への影響の程度や定着状況に応じたカテゴリ区分を行った。カテゴリ区分を表-3に示す。

表-3. 鳥取県外来種リストのカテゴリ区分及び定義

定着状況	カテゴリ	要件
定着	重点対策種	本県に定着している外来種のうち、生態系等への影響が確認されている、または懸念される種
	その他の対策種	本県に定着している外来種のうち、上記以外の種
定着不明・情報なし	重点定着予防種	県外で生態系等への影響が確認されており、本県に導入・定着した場合、同様に生態系への影響を生じるおそれが高い種
	その他の予防種	本県への定着が確認されていない外来種のうち上記以外の種
定着の有無は問わない	産業管理種	生態系等への影響が確認されているが、産業または公益的役割において重要であり、利用においては逸脱の防止を図りながら適切な管理が必要な外来種

(4) 特定外来生物等の指定状況

外来生物法（正式名称：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）に基づく特定外来生物等の指定状況を整理した。指定状況は2025年2月現在のものである。項目と内容を表-4に示す。

表-4. 特定外来生物等の指定状況における項目と内容

項目	内容
特定外来	特定外来生物に指定されている。
特定外来（一部）	属または類等で複数種が指定されている場合、そのうちの一部が特定外来生物に指定されている。
条件付特定外来	条件付特定外来生物に指定されている。
旧要注意外来生物	生態系被害防止外来種リスト公表以前に要注意外来生物に指定されていた（平成27年3月に廃止）。

(5) 生態系被害防止外来種リスト（環境省）の記載情報

「生態系被害防止外来種リスト」記載の以下の項目について整理した。

- ・カテゴリ及び詳細カテゴリ
- ・影響の種類
- ・生息環境

(6) 過去の鳥取県の外来種情報

「鳥取県の外来性動植物のリスト(2007)」記載の以下の項目について整理した。

- ・ 本県への影響
- ・ 定着可能性
- ・ 影響
- ・ 本県定着の有無

(7) 備考

以下の情報を記載した。

- ・ 日本の侵略的外来種ワースト 100 への指定状況
上記に指定がある種は「日本の侵略的外来種ワースト 100」と記載。
- ・ 世界の侵略的外来種ワースト 100 への指定状況
上記に指定がある種は「世界の侵略的外来種ワースト 100」と記載。
- ・ 国内由来の外来種
上記に該当する場合は「国内由来の外来種」と記載。
- ・ 鳥取県に定着していない種の隣県分布情報
鳥取県には定着していないが文献調査等により隣県での定着が確認された種について記載。なお、対象は鳥取県と県境が接する兵庫県、島根県、岡山県、広島県とする。
- ・ 在来種との形態的な識別が困難な種
在来種との識別が困難な種について「日本産種との形態による識別は困難」と記載。
- ・ その他の情報
上記以外で特筆すべき情報について記載。

2. 参考文献等

本リストの作成にあたり参考とした文献等を以下に示す。

- ・愛知県環境調査センター. 愛知県の外来種 ブルーデータブックあいち 2021. 愛知県, 2021, 217p.
- ・青森県. 青森県外来種対策学術調査報告書 ―青森県外来種リスト―. 青森県, 2006, 94p.
- ・一般財団法人 自然環境研究センター. 最新 日本の外来生物. 平凡社, 2019, 592p.
- ・茨城県県民生活環境部環境政策課茨城県生物多様性センター. 茨城の外来種データブック 2023年版. 茨城県, 2023, 173p.
- ・大分県. “大分県の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リストについて” 大分県. <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13070/gairailist.html>, (参照 2023-09-30).
- ・沖縄県. 沖縄県対策外来種リスト. 沖縄県, 2018, 21p.
- ・香川県. 香川県侵略的外来種リスト. 香川県, 2021, 47p.
- ・鹿児島県. 鹿児島県外来種リスト. 鹿児島県, 2016, 58p.
- ・勝山輝男. ネイチャーガイド 日本のスゲ. 文一総合出版, 2005, 375p.
- ・環境省. “生態系被害防止外来種リスト”. 日本の外来種対策. <https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html>, (参照 2025-01-20).
- ・環境省. 特定外来生物等の選定作業が必要と考えられる外来生物(植物)に係る情報及び評価(案) エフクレタヌキモ(*Utricularia cf. platensis*)、ウトリクラリア・インフラタ(*U. inflata*)、ウトリクラリア・プラテンシス(*U. platensis*). 環境省, 2019, 4p.
- ・環境省. 特定外来生物の選定作業が必要と考えられる外来生物に係る情報及び評価(案) チュウゴクオオサンショウウオ(*Andrias davidianus*) オオサンショウウオとの交雑種(*Andrias japonicus*). 環境省, 2024, 10p.
- ・環境省. “ハヤトゲフシアリ(*Lepisiota frauenfeldi*)”. 特定外来生物等の選定作業が必要と考えられる外来生物(昆虫類等陸生節足動物)に係る情報及び評価(案). 環境省, 2020, p.18-21.
- ・京都府. “京都府外来種データブック(2020)”. 京都府. <https://www.pref.kyoto.jp/gairai/databook2020.html>, (参照 2023-09-30).
- ・高知県. 高知県で注意すべき外来種リスト. 高知県, 2020. 30p.
- ・国土交通省 国土技術政策総合研究所. “河川水辺の国勢調査”. 河川環境データベースシステム. <https://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>, (参照 2024-01-15).
- ・国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所. “薬用植物総合データベース”. NIBIOHN. http://mpdb.nibiohn.go.jp/mpdb-bin/view_plant_data.cgi?id=86&lang=ja, (参照 2024-01-19).
- ・国立研究開発法人 国立環境研究所. “日本の外来生物”. 侵入生物データベース. <https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/category.html>, (参照 2025-01-09).
- ・滋賀県野生動植物との共生に関する検討会. 滋賀県外来種リスト 2019. 滋賀県, 2019, 10p.

- ・千葉県環境生活部自然保護課. 千葉県の外来生物リスト 2020年改訂版. 千葉県, 2020, 46p.
- ・鳥取県生物学会. 鳥取県の外来種リスト(2007). 山陰自然史研究. 2007, no. 3, p. 37-45.
- ・長崎県. “長崎県外来種リスト”. 長崎県. <https://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2019/10/1569889207.pdf>, (参照 2023-09-30).
- ・長野県. “長野県の外来生物 長野県版生態系被害防止外来種リスト”. 長野県. <https://www.pref.nagano.lg.jp/shizenhogo/kurashi/shizen/hogo/gairai/gairai-kennai.html>, (参照 2023-09-30).
- ・奈良県. “外来種リスト (2016年3月発行)” 奈良県. <https://www.pref.nara.jp/secure/32200/gairai.pdf>, (参照 2023-09-30).
- ・日本生態学会. 外来種ハンドブック. 地人書館, 2002, 390p.
- ・国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構. “国内にはラプラタリンゴガイとスクミリンゴガイが生息する”. 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構. <https://www.naro.go.jp/project/results/laboratory/karc/2008/konarc08-42.html>, (参照 2024-01-17).
- ・兵庫県. “兵庫県の外来生物(ブラックリスト2010(2024改定版))” 兵庫県. <https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/application/files/8317/2360/9738/20102024.pdf>, (参照 2024-12-20).
- ・福岡県保健環境研究所. 福岡県侵略的外来種リスト:哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類、植物 2018. 福岡県, 2018, 135p.
- ・藤井伸二・勝山輝男・狩山俊悟・牧雅之. コウガイセキショウモの野生化個体群を神奈川県と岡山県に記録する. 分類. 2017, vol. 17, no. 1, p. 43-47.
- ・細田裕貴子. 島根県からセイヨウオオマルハナバチ (*Bombus terrestris*) の自然巣を発見. 保全生態学研究. 1999, vol. 4, no. 2, p. 207-208.
- ・北海道. 北海道の外来種リスト -北海道ブルーリスト2010-. 北海道, 2010, 35p.
- ・福島県生活環境部自然保護課. ふくしまブルーリスト2022年度版. 福島県, 2023, 42p.
- ・宮崎県. “宮崎の外来種 宮崎県外来種リスト”. 宮崎県. <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/shizen/kurashi/shizen/index-02.html>, (参照 2023-09-30).
- ・山口県環境生活部自然保護課. 山口県外来種リスト. 山口県, 2018, 50p.
- ・林野庁. 令和4年度ツヤハダゴマダラカミキリによる被害や防除方法等に関する調査事業実施報告書. 林野庁, 2022, 98p.
- ・和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課自然環境室. 和歌山県の外来種リスト. 和歌山県, 2019, 89p.